

CDP水セキュリティ分野において最高評価「Aリスト」に2年連続で選定

王子ホールディングス株式会社（社長：磯野裕之、本社：東京都中央区）は、企業や自治体の環境情報開示に取り組む国際的な非営利団体であるCDP^{※1}より、水セキュリティ分野の透明性とパフォーマンスにおけるリーダーシップが認められ、2024年に続き、2025年も最高評価である「Aリスト」企業に選定されました。なお、フォレスト（木材）分野においては、4年連続で「Aリスト」に選定されています。

王子グループでは、事業活動における水リスクの評価に加え、水資源の循環利用による取水量の削減、排水の浄化による生態系の保全、地域の水利用者との対話・協働に取り組んでいます。今回の「Aリスト」選定は、これらの継続的な取り組みと、包括的かつ透明性の高い情報開示が評価された結果と考えております。

また、王子グループが国内外で保有・管理する広大な森林（王子の森）は、水を浄化し蓄える水源涵養機能などの多面的な機能を有しています。国内における王子の森（18.8万ha）の水源涵養量は1日当たり約510万m³と推計され、約1,690万人の水使用量に相当し^{※2}、水資源の安定供給に貢献しています。

王子グループは今後も、経営理念の一つである「環境・社会との共生」のもと、事業場における水資源保全の取り組みや、王子の森の多面的な機能の発揮を促進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



※1. CDP (<https://www.cdp.net/ja>) は、企業や金融機関、自治体を対象に環境情報開示システムを運営する、2000年に設立された国際的な非営利組織。機関投資家、金融機関と連携して、気候変動、水セキュリティ、森林に焦点を当て、企業の環境情報開示を促進。2025年には、運用資産総額127兆米ドルにのぼる640の機関投資家が、CDPを通じた情報開示を企業に求め、22,100社を超える企業がCDPのプラットフォームを通じて情報を開示。

※2. 家庭で1人が1日に使う水の量を300リットル（出典：厚生労働省）として算出。

関連情報

- [王子グループ統合報告書2025](#)
- [サステナビリティ：資源循環（水）](#)
- [CDPフォレスト（木材）分野で4年連続最高評価「Aリスト」に選定 ～持続可能な森林経営が高評価～](#)

本件に関する問い合わせ先

王子マネジメントオフィス株式会社

サステナビリティ推進本部 サステナビリティ推進部 TEL：03-3563-7020 Email：ojihdss@oji-gr.com

王子ホールディングス株式会社 <https://www.ojiholdings.co.jp/>

コーポレートガバナンス本部 広報部 TEL：03-3563-4523 E-mail：oji-holdings@oji-gr.com